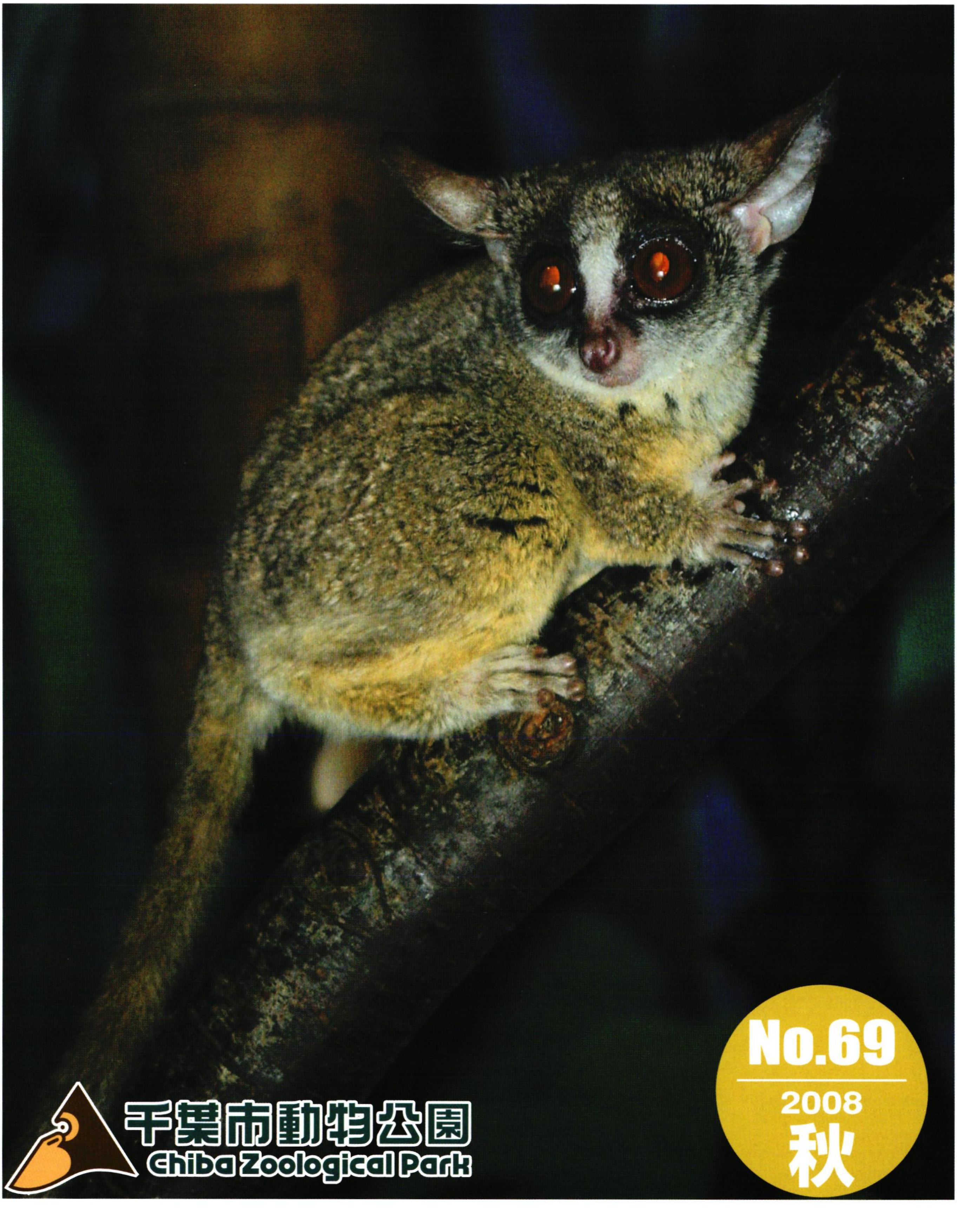
どうぶつこうえんニュース



No.69
2008
秋

千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

Topics

トピックス

風花・風鈴のお嫁入り

6月30日に2頭のレッサーパンダが搬出されました。当園で産まれ育った風花と風鈴が繁殖のため、風花(2006年6月2日生まれ)は山口県周南市の徳山動物園、風鈴(2007年7月11日生まれ)は長野県長野市の茶臼山動物園に行きました。

それぞれたくさんの思い出がありますが、風花は20年以上レッサーパンダを飼育してきた当園で弟のユウタともに初めての繁殖した姉弟でした。また人気者の風太君の初めての仔としてたくさんのお客さんに注目され、腕白のユウタに比べおっとりしてマイペースな性格でした。一方風鈴は産まれたとき、姉の風美に比べ6時間以上も遅く、体重も少なかったのでうまく育つか心配していましたが、体重は姉に比べ小さめでしたが順調に育ってくれました。外に出した当初は姉の風美に比べ何をするのでも遅れ、3頭の一番最後でしたが、今年にはいると活発になりお転婆ぶりを発揮、人に飛びついたり、立ってリンゴをねだったりしました。お母さん譲りの座って食べるかわいいところを見せてくれました。

前日の6月29日には2頭のお別れ会が行われました。雨の中、たくさん方々が別れを惜しんで会いにきて下さいました。2組の家族の方がデコレーションした果物をプレゼントされた風鈴と風花は、おいしそうにリンゴなどをほおばっていました。翌日の朝にはそれぞれの地に旅立っていき、道中何事もなく2頭とも無事到着しました。今では展示も始まってその姿をご覧になれるそうです。

風花、風鈴がいなくなり寂しくなりましたが、6月27日チィチィに3度目の双子が産まれ、今年も秋にはかわいい仔がご覧になれると思います。

最後に風花、風鈴に「たくさんの思い出ありがとう。」と伝えたいと思います

濱田　昌平（Masahira Hamada）

目　次

CONTENTS

表紙【ショウガラゴ】……❶
トピックス【風花・風鈴のお嫁入り】……❷
動物公園のかわいい赤ちゃん特集……❸
出張授業が始まりました……❹
出張授業に行ってきました……❺
飼育よもやま話【ロバ】……❻
動物病院から【ハートマンヤマシマウマ】……❻
動物公園日誌から【'08.4/1～'08.6/30】……❼
裏表紙【ヒオドシジュケイ】……❽
サポーター会員募集のお知らせ……❽
Information……❽

表紙の動物説明　ショウガラゴ

ショウガラゴは、別名ブッシュベイビーとも呼び、その大きさは15～17cmで、尾の長さは12～27cmと、体に比較すると非常に長くなっています。垂直にジャンプができ、その距離は5mにも及び、枝から枝へ渡ります。手足の指にはヤモリのような吸盤はなく、ものをしっかりつかむために手足を常に尿で湿らせています。また、櫛のようになった下顎の前歯で樹脂をなめ取って採食します。完全な夜行性であることから、眼球も顔に比較して非常に大きく見えます。

ガラゴ属の中でも最も分布域が広く、セネガルからエチオピア北部、ソマリア、モザンビークを経てアンゴラまで至り、7亜種に分類されます。当園で飼育している個体は、どの亜種かは不明です。

食物は、小動物やアカシアのゴムや樹脂、果実、蜜などです。

妊娠期間は平均で123日、年2回出産し、1回に1～2仔を産みます。1年で性成熟に達し、寿命は飼育下では14年ほどです。

小林　正典（Masanori Kobayashi）

動物飼育数

平成20年6月末現在の飼育数

Classified number of animals as of 30.Jun.2008

哺乳類	66種	460点	両生類	1種	2点
鳥類	75種	332点	魚類	1種	2点
爬虫類	7種	32点	総計	150種	828点

動物公園のかわいい 赤ちゃん特集

今年も動物公園ではたくさんの赤ちゃんが産まれました。
産まれた日付順にご紹介していきましょう。

シタツンガ

プレーリードッグ（9匹産まれました）

ショウガラゴ

フサオマキザル

ワオキツネザル（現在は非公開）

ワタボウシパンシェ

チンチラ

ロバ

出張授業が始まりました！

この企画は、動物公園に来る子どもたちに、動物のことを「もっと知ってもらいたい」「もっと興味を持ってもらいたい」という考えが元になっています。

しかし、面白そうだからとすぐにできるわけではありません。動物公園も千葉市の組織のひとつ、きちんと企画書を作り、許可を取らなければなりません。

そのためには、誰を対象にどんな内容の授業を行うのか、また誰が先生役となりどこまで行くのかなど、決めなければならないことがたくさんあり、実施は昨年度途中からとなり、実質的には今年度が始まりの年となります。

事務仕事に不慣れな者が、企画書を作り、ようやく実施にこぎつけた出張授業とはどんなものなのか。Q&A方式で説明しましょう。

伴野　修一（Shuichi Banno）

出張授業 Q&A

1
Q 出張授業とは？
A 飼育係が、先生になって授業をすることです。

2
Q 誰でもやってもらえるの？
A すみません。千葉市内の小学校に限らせてもらっています。（学年、クラス単位で）

3
Q どこでやるの？
A 申し込みのあった小学校の教室などです。

4
Q どんなことをするの？
A 卵や、動物のえさとウンチなど動物の話や、校外学習での動物公園の見所などです。内容については、ご相談ください。卵や角などの標本や映像などを使いますが、動物は連れて行けません。

5
Q どうしたらやってもらえるの？
A 希望日の1ヶ月前までにお電話ください。

6
Q 詳しく知りたいのですが？
A どんなことでもお問合わせください。
動物公園飼育課：電話 043−252−7577

出張授業に行ってきました！

6月11日　千葉市立源小学校

「来た、来た」と大きな声が校舎の中から聞こえてきました。私たちが授業で使う教材の動物の餌や角などを運ぶ姿を見た子供達の声です。期待を感じると同時に、理解し楽しんでくれるだろうか？と不安にもなりました。

しかし、その不安も授業が始まるとすぐふっ飛んでいきました。初めて見たり触れたりする、動物の角や卵や毛、エサやうんちなどに目を輝かせ、真剣に話を聞いてくれました。この学校では出張授業の後、動物園に来園し、一人一人が動物の餌やうんちについて調べていました。又、学校での「食育について」の研究発表会でも出張授業の内容を役立ててくれていました。そして何よりも嬉しかったことは「又、授業してね」と子どもたちに言われたことです。「たまには、先生もいいかな。」

古谷　保生（Yasuo Furuya）

6月19日　千葉市立幸町第二小学校

子どもって、こんなにもいきいき・わくわくしているんだなぁって感じました。何にせよ終始、子どものパワーに圧倒されてしまいました。

今回は小学2年生45名。動物園へ遠足に来る前に“より動物園が楽しくなるために”とのことで依頼を受けました。動物園の見所、観察のポイントなどを映像や動物の角や卵、それに実際の餌やうんちの標本を持参してお話させていただきました。依頼を受けた当初は、珍しい・貴重な資料収集に焦り行き詰ってしまいましたが、結局は普段どおりの動物園を紹介しました。しかし、その私たちがいつも接している、こんなにも身近なものが、子どもたちには魅力ある道具になるのだと実感しました。今後はできるだけ多くの子どもたちに、この“わくわく”を体験してほしいと願っています。

中村　彰宏（Akihiro Nakamura）

○月×日
日直
あらい

飼育よもやま話

ロ　バ

ロバは奇蹄目ウマ科ウマ属ロバ亜属に属する動物です。ウマの仲間ではありますが、実際にはウマよりシマウマに近い動物です。日本ではあまりなじみがありませんが、世界では約四千万頭が飼育され、荷役（荷物を運ぶ仕事）に用いられています。当園にいるのは、小驢（しょうろ）という種類で、主に中国南部で飼育されている小型のロバです。

子ども動物園内では、オスの松五郎（19歳）とメスのプラム（6歳）を飼育しており、今年5月3日には、この2頭にとって第2子となる小梅（メス）が誕生しました。

5月3日の朝、私がいつも通り「おはよう、プラムー」と寝室の扉を開けると、部屋の隅にいるプラムの足元に、ねずみ色の濡れ雑巾のような何かが…「赤ちゃんだ！」。生まれた直後だったようで、まだ体はぐっしょり。草食動物、特にウマの仲間の赤ちゃんは、肉食動物からの捕食を避けるために、通常分娩後30分～1時間以内に自分の力で立ち上がり、すぐ走ることができるようになります。見守っていると、赤ちゃんが四肢をふんばって一生懸命立ち上がろうとしています。「立て！立つんだ！」赤ちゃんの名前が「ジョー」になりかけた瞬間でした…。赤ちゃんは無事立ち上がり、ヨロヨロと歩き出しました。その後おっぱいを飲むところも確認でき、一安心です。

プラムはとても人に慣れているので、出産直後の赤ちゃんを抱き上げても全く怒りませんでした。そのとき11kgだった小梅の体重は、2ヶ月で3倍になり、順調に育っています。現在、不定期ではありますが、引き綱をつけたプラムと小梅を子ども動物園内でお散歩させています。プラムはとてもおとなしいのですが、小梅は大変おてんばで目が離せません。お散歩中の小梅を見かけたら、そーっと前から近づいて、ぜひ赤ちゃんならではのフワフワの毛に触ってみて下さい。小梅の成長を、一緒に見守って下さいね。

宮﨑　沙都（Sato Miyazaki）

動物病院から

ハートマンヤマシマウマ

当園では草原ゾーンのアフリカＢエリアで、ハートマンヤマシマウマの雌をアミメキリン2頭と一緒に飼育しています。

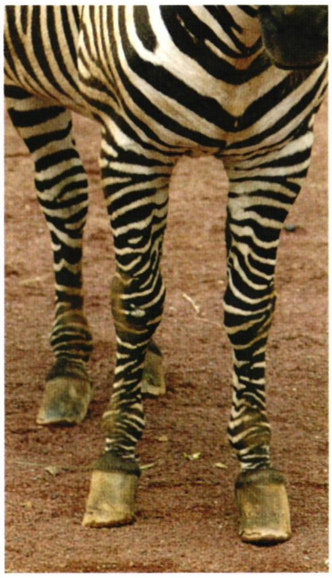
アメリカのサンディエゴ動物園生まれで、今年25歳で、名前はヒマワリといいます。ハートマンヤマシマウマの寿命は25～26歳なので相当のおばあさんです。

もうそれほど走り回ることもなく、四肢の関節も痛いのか、この冬から春にかけて四肢の蹄がかなり伸びてしまいました。

それで、6月9日に削蹄を行いました。

削蹄するといっても普通の馬のように足を上げてさせてくれないので、麻酔をかけます。麻酔も人のようにマスクで麻酔薬をかがせることはできないので、まず、麻酔銃で麻酔薬2種類をお尻に注射しました。麻酔が効いて6分ぐらいでシマウマが横になったところで、4本の肢にロープをかけて大勢で引っ張り動かないようにします。

それからやっと削蹄作業になります。削蹄は今回は装蹄師さんに頼みました。シマウマの蹄は馬よりも堅いので、グラインダーやノコギリ等を使い削ります。



削蹄前

削蹄後

35分ぐらいで削蹄作業は終わり、麻酔薬の拮抗薬を打ちました。高齢なので心配でしたが、麻酔から覚め無事に立ち上がりました。

蹄の長さもちょうどよくなり、シマウマは歩きやすくなったようです。

中村　　誠（Makoto Nakamura）

動物公園日誌から
From Zoological Park Diary

'08年4月1日～'08年6月30日

4月1日	「おサルの写真館」写真展示
4月2日	エミュウ（雛）体重測定、（2月16日生まれ：950g、2月22日生まれ：800g）
4月3日	ワオキツネザル（1頭）、繁殖
4月4日	ワタボウシパンシェ（2頭）、繁殖
4月6日	オグロプレーリードッグ、巣箱に仔3匹確認
4月7日	ボト、体重測定、（雄：1.38kg、雌：1.6kg）
	ムツオビアルマジロ、体重測定（5.71kg）
	シタツンガ、3月生まれの仔、他の個体と一緒に展示場へ出す
4月9日	エミュウ（雛）体重測定、（2月16日生まれ：1,150g、2月22日生まれ：1,050g）
	ヒゲゴシキドリ、巣箱に入りドラミングしている
4月10日	ホンドザル（雄4頭）、朝雌群れと合流させる　2～3時間ほどはチョコチョコ追われるが、昼前には落ち着く
4月12日	アカハシハジロ（5羽）、水禽池で孵化（孵化後1羽行方不明）

4月14日	**アジアスイギュウ、竹ざおの先に青草をつけ、観客通路から与える　少し警戒するが食べる**
4月15日	トナカイ、本日より2頭一緒に放飼する
4月16日	アメリカビーバー、ペアリング
4月19日	ヒオドシジュケイ（1羽）、人工孵化
4月20日	ワンポイントウオッチング（ロバ）
4月21日	オジロワシ、雄が雌に嘴を咬みつけれたか、負傷　雛が2羽いたので人工育雛に切り替える
4月22日	レッサーパンダ、風美と風鈴の部屋を別にする
4月28日	オニオオハシ、巣箱に卵があったので採卵し孵卵器に入れる
	ショウガラゴ（1頭）、繁殖
4月29日	花苗プレゼント
5月1日	フサオマキザル、オニグルミを与える
5月3日	ロバ（雌1頭）、繁殖　体重11.0kg
5月6日	ロバの仔、「小梅」と命名
5月7日	子ども動物園（ウマ類）、3種混合ワクチン接種
5月8日	アメリカビーバー、体重測定（雄：17.2kg、雌：18.8kg）
	ロバ（小梅）、体重測定（14.0kg）
5月11日	バードウィーク講演会（カラスについて）
5月12日	カラフトフクロウ、抱卵中の卵、検卵したところ無精卵であった
	モウコノウマ（2頭）、日本脳炎ワクチン接種
5月14日	タンチョウ（雌）、嘴にペットボトルの一部がひっかかっていた　捕獲のため追っているうちに外れた
5月17日	フタコブラクダ、雄雌同時に放飼する　雄が盛んにフレーメンする
5月18日	アビシニアコロブス（キクユ）、雄（ドント）動きが鈍く食欲もない
	ゆかいな森の音楽会開催
5月21日	ヒロハシサギ、1卵抱卵
	アビシニアコロブス（キクユ）、雄（ドント）まだ元気がないため予備室に移動
5月22日	ヒロハシサギの巣台にアオダイショウが出たため捕獲、抱卵を中止したため採卵した
5月23日	オジロワシ（雛2羽）、マイクロチップ埋め込み
	オグロプレーリードッグ、展示場の巣穴に仔9匹確認
5月24日	マレーバク、バックヤードツアー実施
5月25日	ワンポイントウオッチング（フサホロホロチョウ）
5月28日	アビシニアコロブス（キクユ）、雄（ドント）群れに戻す　隔離前より元気がある
	ワオキツネザル（1頭）、繁殖
5月29日	スズガモ、シジミを与えてみる　始めはついばむだけだが徐々に食べる
5月30日	ケープペンギン（雛）、翼帯装着及びマイクロチップ埋め込み
6月1日	ヒツジの毛刈り教室開催
6月2日	オオカンガルー（1頭）、繁殖
	トナカイ（雄）、死亡
	スローロリス（2頭）、検疫明け
6月4日	子ども動物園（ウマ類）、3種混合ワクチン接種（2回目）
	千葉市立草野中学校職場体験実施（6月5日まで）

6月5日	**レッサーパンダ、チィチィの巣箱にカメラ設置**
6月7日	ヒツジ（雌）、死亡
6月9日	ハートマンヤマシマウマ（雌）、麻酔下で削蹄（四肢）
	アジアゾウ（雄）、側頭腺両側たれる
6月10日	オグロプレーリードッグ、展示場の子どもたち（9匹）が巣外で牧草をよく食べる
6月14日	レッサーパンダ（雌：チィチィ）、竹を巣箱内に引き込む
6月15日	ワンポイントウオッチング（クロザル）
6月17日	千葉市教育研究会生活科部会へ出張授業の説明会を開催
6月19日	千葉県立幕張総合高等学校職場体験実施（6月20日まで）
6月20日	千葉県立木更津高等学校校外学習実施

6月22日	**サポーターズデイ開催**
6月23日	マンドリル（雄）、終日吠えている
	ムフロン、工事のため6月27日まで展示無し
6月24日	スローロリス、展示で3頭同居する　特に異常なし
	千葉市立千城台南中学校職場体験実施（6月25日まで）
6月25日	ミケリス（雄）、上門歯過長のため、1cmくらいペンチで切る
6月26日	レッサーパンダ（雌：チィチィ）、竹を巣箱に運び込み、巣箱内にいることが多い
6月27日	レッサーパンダ（2頭）、繁殖
6月28日	スイギュウ、餌やり体験実施
	Zooキッズデー
6月29日	風花・風鈴おわかれ会
6月30日	レッサーパンダ、雌（風花）を周南市徳山動物園へ、雌（風鈴）を長野市茶臼山動物園へ搬出
	ハシビロコウ（剥製、卵のレプリカ）を展示再開（7月1日より）

浅野　洋之（Hiroyuki Asano）

編　集　後　記

地球温暖化のためか、今年の夏も梅雨明けしたとたん真夏日の連続でした。園内の動物たちも暑さのために動きが鈍いように見られました。まもなく、今年も誕生した当園の人気ものレッサーパンダの仔2匹が、新たにご来園の皆様をお迎えします。ぜひ秋のさわやかな風の中、園内散策をお楽しみ下さい。動物たちが皆様を癒してくれることでしょう。

どうぶつこうえんニュース編集委員

ヒオドシジュケイ

動物取扱業者標識	
①氏名または名称	千葉市
②事業所の名称	千葉市動物公園
③事業所の所在地	千葉市若葉区源町280
④動物取扱業の種別	展 示
⑤登 録 番 号	第50015号
⑥登 録 年 月 日	平成19年7月30日
⑦有効期間の末日	平成24年7月29日
⑧動物取扱責任者	飼育課長 小林 正典

千葉市動物公園 Chiba Zoological Park

サポーター会員募集

㈶千葉市動物公園協会では、動物に関する知識と動物愛護の精神を普及することを目的に「**サポーター会員**」を募集いたします。

年会費（入会日～翌年入会月末）　個人会員　1,000円（1口）
法人会員　10,000円（1口）

オリジナルグッズプレゼント♪　サポーターズデイに無料ご招待！

お問い合わせは　☎**043-252-1111**

Information

平成20年9月・10月・11月の 催し物一覧

★ 9 月 21 日㊐　ワンポイントウォッチング（アルマジロ）
★ 9 月 23 日㊋　折り紙教室
★ 10 月 5 日㊐　写真教室（事前申し込み制）
★ 10 月 12 日㊐　ワンポイントウォッチング（エリマキキツネザル）
★ 11 月 2 日㊐　Zooクイズラリー
★ 11 月 9 日㊐　ワンポイントウォッチング（ケープペンギン）
★ 11 月 22 日㊏　講演会（絵本作家：木村裕一氏）

駐車場料金 減免のお知らせ

平成20年1月1日より下記の手帳をお持ちの方の普通車の駐車料金が免除になりました。

- 身体障害者手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 療育手帳

お入りになる際、料金所のインターホンでお伝えください。

どうぶつこうえんニュース第69号
平成20年9月1日発行
編集 発行
千葉市動物公園　http://www.city.chiba.jp/zoo/
㈶千葉市動物公園協会　http://www.chibazoo.net/
〔総合案内〕☎043-252-1111
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-City Japan.